

令和7年7月～9月 地域経済動向調査まとめ

① 【長野県産業労働部】「景気動向調査（令和7年10月3日公表）」

(1) 総括

長野県内の景気は、依然として厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きが見られるとしてされています。

(2) 製造業

- 電機・IT関連分野を中心に受注や生産の回復が見られる。
- 一方、自動車関連や一部精密機械分野では低調な動きが続いている、業況判断は引き続き慎重。

(3) 非製造業

- 観光関連や情報サービス業では回復基調。
- 飲食業・卸売業では、原材料価格や人件費の上昇が経営を圧迫し、厳しい状況が継続。

② 【関東財務局長野財務事務所】「県内経済情勢報告書（2025年11月6日公表）」

(1) 総括

県内経済は、**「持ち直している」**との判断が示されている。

(2) 主な項目別動向

- 個人消費：物価上昇の影響はあるものの、百貨店・スーパー等を中心に緩やかな回復が見られる。
- 生産活動：一部業種で持ち直しが進み、全体として回復傾向。
- 雇用情勢：有効求人倍率は高水準を維持しているものの、人手不足感は依然として強く、足踏み状態。
- 設備投資：製造業・非製造業ともに、今後の増加が見込まれている。
- 企業収益：売上は回復傾向にある一方、コスト増加により減益見込みの企業が多い状況。

③ 【飯田信用金庫】「飯伊地区産業経済動向」2025年7月・8月・9月分（飯田信用金庫）

(1) 7月の動向

- 住宅関連需要は堅調に推移。
- 地域企業の受注は安定しているが、利益面では原材料費上昇の影響が見られる。

(2) 8月の動向

- 夏季商戦や観光需要により、飲食・小売業の売上は増加傾向。
- 人手不足や仕入価格高騰により、経営課題は継続。

(3) 9月の動向

- イベント需要や来客数の増加により、地域経済は底堅く推移。
- 一方、物価高・人件費増加への対応が引き続き課題。

☆総合的な景気判断

長野県全体では、個人消費や生産活動を中心に持ち直しの動きが見られる一方、物価高や人手不足の影響により、企業収益面では厳しさが残る状況となっています。

飯伊地区においては、観光や地域消費に支えられ、比較的安定した動きが見られるものの、原材料費や人件費の上昇が小規模事業者の経営を圧迫しています。